

## 新疆省におけるゴシキヒワの記述

候蘭新<sup>1</sup> · 蔣衛<sup>2</sup>

1 西北民族学院動物科学系

2 新疆维吾尔自治区地方病防治研究所

訳 福井和二

摘要；新疆省内で記録されたゴシキヒワの2組3亜種について記述する。

傅桐生等<sup>11</sup>は新疆省域内のゴシキヒワの分布について1種1亜種, *Carduelis carduelis paropanisi* としている。筆者らは新疆域内で採集されたゴシキヒワを整理中2組3亜種があることが明らかとなった。Vauriel<sup>12</sup>はゴシキヒワを2組に分け, その一つ, 頭頂中央および頸側が黒色, 背と胸が黒褐色のものをNominate組, 別の一つ, 頭頂, 頸側および背と胸が均一に淡灰褐色のものをCaniceps組とし, 両者の羽色を極めて明確に区別している(図1)。

新疆域内のゴシキヒワを分けた記録は以下の通りである(表1~3)。

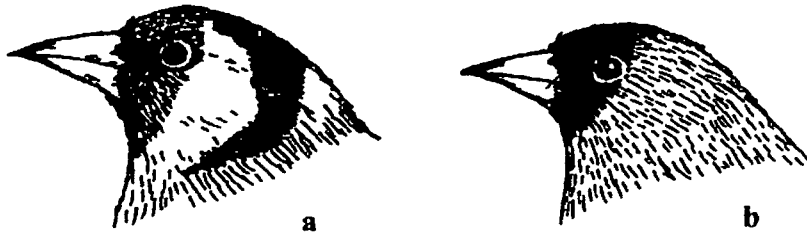


図1 2組の頭部の違い  
a. Nominate b. Caniceps

## 1. Nominate組

1.1 シベリア亜種 *Carduelis carduelis major* Taczanowski, 1879

識別特徴；額, 前頭部, 頬と腮は朱紅色, 目先と嘴のもとを囲む細い紋は黒色, 頭頂の中央, 後頸および頸側は黒色, 翼も黒色, 初列風切外翹の黄色斑は翼の側面に顕著で, 風切先端に白斑がある。尾は黒色だが, 中央尾羽の先端に顕著な白斑がある。背部と肩は黒褐色, 前胸は淡い黒褐色, 喉, 腹から下尾筒は白色, 帯灰白色。

表1 シベリア亜種の測定値

性別	体重 g	全長 mm	嘴峰 mm	翼長 mm	尾長 mm	跗蹠 mm
3♂	22.7	151.0	15.0	88.3	55.7	18.3
	(22.5-22.8)	(148.0-155.0)	(14.0-16.0)	(88.0-89.0)	(55.0-57.0)	(18.0-19.0)
3♀	20.5	146.3	13.3	86.3	56.0	18.0
	(16.6-24.0)	(140.0-151.0)	(13.0-14.0)	(85.0-88.0)	(55.0-58.0)	(17.0-19.0)

*C. c. major*の国外での主要な繁殖地はロシア領内シベリアのウラル山脈東部のトムスク, クラスノヤルスク, 南限はバルノール, アルタイ山脈西部とカザフスタン北部, セミパラチンスクで, 冬季は中央アジア一帯で越冬する。新疆省では冬鳥として記録されている。毎年渡りの時期も, その数も一定ではない。烏魯木齊市郊外の調査で知り得たことは, 11月から翌年の3月ま

が多く見られる。向札陔等<sup>[1]</sup>が博楽市で採集した記録では10月31日、筆者が烏魯木齊で最も遅く採集された記録は5月3日であった。その羽色は美しく、新疆の烏市で一般的に売買される種である。伊寧市の烏市で調査した資料によると1994年は渡来が多く、烏市で多く見られ、1995年は12月中旬に至っても1羽も見ることがなく、12月の初めに1羽を捕獲したという話を聞いたのみであった。野外では小群で行動するか、単独で行動しているのを見かける。胃の検査では冬季の食物は雑草の種子であった。

2. *Caniceps* 組

2.1 新疆亜種 *Carduelis carduelis paropanis* Kollibai, 1910

識別特徴：額、前頭、頬と腮は朱紅色、目先黒色。翼黒色、初列風切の外翹の黄色斑は翼の側面に顕著に見え、次列風切の外翹に明らかな白斑がある。尾羽は黒色であるが、中央2対の先端に白斑がある。上体および下喉から胸は淡灰褐色。上尾筒は白色である。

*C. c. paropanis* は新疆地方で繁殖する鳥で広くこの地方に分布している。夏季に標高1,600の山中、トウヒ林の林縁部で南斜面の草地あるいは灌木叢、灌木疎林に常時見られる。冬季は南へ渡るが、少数が新疆地域の底山帯の谷筋にある二次林や平原のオアシスにいる。筆者はかつて1995年11月23日特克斯の標高1,600mの谷筋二次林において1羽を採集した。

表2 新疆亜種の測定値

性別	体重 g	全長 mm	嘴峰 mm	翼長 mm	尾長 mm	跗蹠 mm
4♂	19.2	137.8	12.8	81.4	57.6	15.3
	(18.4-20.0)	(131.0-145.0)	(10.0-14.6)	(80.0-83.0)	(53.3-62.0)	(14.5-16.0)
3♀	16.5	134.3	13.2	76.2	47.4	15.4
	(16.1-16.8)	(130.0-142.0)	(13.0-13.4)	(69.5-81.0)	(40.8-58.0)	(14.4-16.0)

2.2 北方亜種 *Carduelis carduelis subulata* Gloger, 1833

識別特徴：本亜種は *C. c. paropanis* と比較して体色がやや淡く、体軀がやや大きい。次列風切と尾羽の白斑もやや大きい。

Vaurie<sup>[2]</sup>は *Caniceps* 組を3亜種とし、新疆亜種 *C. c. paropanis* と西藏亜種 *C. c. caniceps* は共に我が国域内で繁殖するが、しかし *C. c. subulata* の主要な繁殖地域はロシアのシベリア南部ミヌシンスクから東へバイカル湖、南はサヤン山脈、ロシア領アルタイ山脈と蒙古西北部としている。冬季には南に渡り最も遠距離ではアフガンとパキスタンに至る。新疆域内の記録は冬鳥として *C. c. major* との混群で渡来するものを見ることが出来る。4号標本は12月28日～翌年3月7日の間に、烏魯木齊市郊外で採集されたものである。

表3 北方亜種の測定値

性別	体重 g	全長 mm	嘴峰 mm	翼長 mm	尾長 mm	跗蹠 mm
2♀	19.0 ; 11.3	135.0 ; 133.0	14.0 ; 13.0	82.0 ; 81.0	49.0 ; 55.0	16.0 ; 16.0
2-	- ; 19.6	- ; 142.0	14.5 ; 16.0	83.0 ; 82.0	60.0 ; 55.0	- ; 15.0

新疆におけるゴシキヒワの識別

1. 頭頂と頸側の黒色、背と胸が黒褐色-----シベリア亜種 *C. c. major*  
 頭頂と頸側が黒くなく、背と胸が灰褐色 ----- 2
2. 体色が稍濃く、体形稍小さい。翼長 10♂82.5(82~85)<sup>[2]</sup> ----- 新疆亜種 *C. c. paropanis*  
 体色稍淡く、体形が稍大きい。翼長 10♂85.5(82~88)<sup>[2]</sup> ----- 北方亜種 *C. c. subulata*